

えっとまめな介護だより Vol.25

市では、介護人材を確保するために離職防止と多様な人材の確保に重点を置いた取組を推進しています。今回は、令和4年度に開設した訪問介護事業所「訪問介護むすび」の来米さんにインタビューしました！



訪問介護むすび
管理者 くるめ 来米 さん

「訪問介護」の内容について教えてください

ホームヘルパーが居宅を訪問し、お風呂や排せつのお手伝いといった「身体介護」、調理、洗濯、掃除などの「家事援助」を行います。

一人ひとりの「やりたいことを、やりたいときにやる」「こうありたい」という想いを叶えるためのお手伝いをしています。

なぜ訪問介護事業所を立ち上げようと思ったのですか？

一人ひとりの想いを、一つひとつ一緒に叶えていくために立ち上げました。

今までできていたこと、やりたいと思っていたことが、年齢を重ねるにつれて難しくなることが多いです。一人では難しいことも、私たち福祉従事者と一緒ならできると思っています。

私たち福祉従事者は、どうしても利用者の安全を重視してしまいますが、本人の言葉を制限するのではなく、一人ひとりの「やりたい！」をどうしたら叶えられるのかを一緒に考えることが私たちの仕事だと思っています。

心に残っているできごとを教えてください

利用者の方一人ひとりとそれぞれ思い出があります。点字や手話を教えていただいたり、私たちの年代では考えられないような経験談をお聞きしたりしました。また、家事、料理、掃除、洗濯などには、一人ひとりにこだわりがあり、とても勉強になります。

仕事のやりがいについて教えてください

利用者の方の中には、ホームヘルパーの受入れが難しい方もおられます。そういう方が少しずつ私たちを受入れてくださり、訪問を待っていてくださるようになるのとても嬉しいです。

また、自分の想いや気持ちをストレートにぶつけてくる方もおられます。私たちに信頼し、心を開いてくださっていると思うと、この仕事にやりがいを感じます。

これから介護従事者を目指す方へメッセージをお願いします

その方がやりたいことを、やりたいときにやる。その方がやりたいこと、こうありたいと思うことのお手伝いができる。

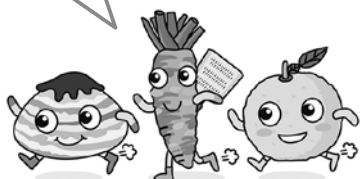
その方の生活だけではなく、人生を共にする。生活レベルではなく、人生レベルで支えられる。そんな素敵な仕事です。



「ほっと一息」
休みの日の過ごし方は？

裁縫が趣味なので、基本的にはミシンの前に座っています。利用者の方にも裁縫をしている方が多く、話題のひとつになっていきます。また、祖母に会いに行ったり、料理の練習をしたりする日もあります。特に料理は、インターネットで「これ、訪問先で作ったら良いかも！」と思うメニューを見つけたら、家で練習しています。どのくらい時間がかかるのか、硬さは大丈夫か、切り方を変えたほうがいいのか、などを考えながら練習します。他にもやりたいことがたくさんあります。

来米さんは「ケア Improve」という団体で、ケアに関する勉強会の開催などもされているそうです！



インタビューにご協力いただいた来米さん、ありがとうございました！